

令和6年度4月実施学力調査結果報告（児童質問紙）

4月の学力調査の際に、4年生と6年生が実施した、質問紙調査の結果の概要（抜粋）についてお知らせします。

質問紙調査の意義

毎年、学力調査の際には、学力についての調査と生活面や意識などについての調査（質問紙調査）を行っています。これは、結果を学力の面だけでとらえるのではなく、生活習慣や学習への意欲・環境などを含めて、多面的に捉えて、改善を図ることを狙っているためです。

〔6年生の質問紙調査より〕

○はよい傾向にある項目
（割合が高いもしくは県を上回っている項目）

▲は課題となる項目
（割合が低いもしくは県を下回っている項目）

- 「学校は好きだ」に「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合。
- 「自分の考えを発表したり、話し合ったりすること」に「好き」「どちらかと言えば好き」と回答した割合。
- 「本を読んだり借りたりするために、学校や地域の図書館に週1回以上行く」に「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合。
- 「自分には、よいところがあると思う」に「当てはまる」と回答した割合。
- ▲ 「家で自分で計画を立てて勉強している」に「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合。

〔4年生の質問紙調査より〕

○はよい傾向にある項目
（割合が高いもしくは県を上回っている項目）

▲は課題となる項目
（割合が低いもしくは県を下回っている項目）

- 「算数の勉強は好きだ」に「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合。
- 「先生は、授業やテストで間違えたところや、分からないところについて、分かるまで教えてくれていると思う」に「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合。
- 「学校の宿題をしている」に「している」「どちらかといえばしている」と回答した割合。
- ▲ 「学校の授業の予習・復習をしている」に「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合。

〔今後の取組〕

- 児童が「明日も学校へ行きたい」と思える学校づくりを目指しています。今後も児童同士が互いのよさを認め合い、共に伸びていけるような暖かい人間関係づくりを続けていきます。
- 学期に一度、家庭学習の強化習慣を設け（どんどんカードの取組）、取り組み方を吟味し、家庭と協力して充実させていきます。